

## 第49期事業計画書

2010年12月1日をもって公益財団法人として登記を完了し、今期は公益財団法人として12期目となります。「事業の公益性」「不特定多数の者の利益の増進に寄与」等の観点に立ち経済環境の変化を考慮し、事業及び事業内容の見直しを行い、第49期の事業計画を策定いたしました。しかしながら今般の新型コロナウイルス感染症に伴う影響の長期化により、策定いたしました事業の中止・延期等も懸念されます。

以下、事業項目ごとに第49期の計画を説明いたします。

### 公1. 生涯教育助成事業

生涯教育の振興を図るために、広く生涯教育に関する機関・研究等に対して助成を行い、その成果を通して豊かな人間性を涵養することを目的としています。

#### (1) 洋上研修「生産性の船」への派遣事業

公益財団法人日本生産性本部が主催する洋上研修の趣旨に賛同し、船上という日常と異なった環境の中で人との交流を通じて議論し学んでいくことで人間形成に寄与できるものと考えておりますが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況の見通しが立たないことから、派遣を見合わせます。

#### (2) 研究助成事業

生涯教育の観点から調査・研究をしている人々を応援し、その研究成果を社会に還元することで多くの人々が豊かな人生を送ることができるようになることを目的として調査・研究費用の一部を助成します。財団ホームページに募集要項を載せます。

定 員 8名程度

#### (3) 教育機関等に対する図書寄贈

図書は、豊かな人間形成の糧となるものです。読書離れが進む中、小・中学生の頃より図書に親しんで学ぶ楽しみを体得してもらいたいとの思いから、目黒区公立の小・中学校へ、毎年図書を寄贈します。また災害復興支援の一環として今期も気仙沼市、松島町、いわき市、東広島市および益城町他の小・中学校へ図書を寄贈します。また、毎年発行している「私の生涯教育実践シリーズ」を全国の図書館に寄贈します。

#### (4) 途上国支援

世界には教育を受けたくてもその施設すらないところが多くあります。これらの人々に教育の機会を与えるための環境整備を行っている公益法人等へ助成を行う事業で、引き続きフィリピンのミンダナオにおいて保育所建設及び古着等の物資支援を実施します。

(5) アーティスト派遣

小中学生を対象に、プロのアーティストを派遣し、直接触れ合うことで学ぶ楽しさや本物の世界を体験することにより、豊かな人生を歩むための基礎作りを行う事業です。公立の小・中学校でプロの音楽家の歌を間近で聴く体験や、メディアアーティストによるアニメーションや映像の原理を楽しみながら学び美術を愛好する心を深める体験を提供します。

目黒区、気仙沼市、松島町、いわき市および益城町の教育委員会と調整し派遣します。今期は、目黒区での対象校を拡大します。また、ホームページからも受けたい学校を募集します。

(6) (公財)目黒区芸術文化振興財団 参加プログラムへの助成

目黒区芸術文化振興財団で行っている事業に賛同しワークショップ(参加プログラム、セミナー)の内、演劇ワークショップ、ダンスワークショップ、合唱、美術セミナーに協賛し、その費用を助成します。

(7) その他

当財団へ生涯教育に関する助成の申し込みがあった場合には、事務局で検討し財団の趣旨に合ったものであれば、予算内で助成します。

**公2. 生涯教育学習者奨学助成事業**

生涯学習を实践する者に対し奨学金を給付し、勉学を経済的、精神的に支援することにより、心身の健全な発展と豊かな人間性を涵養し、もってよりよい社会の形成に寄与することを目的としています。

(1) 科目等履修生奨学金

社会に出てからも学ぶ意欲のある方を応援するために、大学および大学院で科目等履修生として1年間の受講(前期・後期を通して4単位以上)をしている方を対象に奨学助成します。ただし、正規の学生や過去において当財団の奨学生となった方は対象外としています。

定 員 15名程度

(2) 放送大学奨学金

社会に出てからも学ぶ意欲のある方を応援するために、放送大学で学んでいる年齢30歳以上の方または会社・官公庁等において実務経験5年以上を有する方を対象とした奨学金助成事業です。

① 選科履修生奨学金

年齢や職業を問わずに学習できる放送大学の選科履修生制度を活用して学ぶ方を対象として奨学助成します。

定 員 15名程度

② 大学院修士全科生奨学金

年齢や職業を問わずに学習できる放送大学大学院の修士全科生として学ぶ方を対象として奨学助成します。

定 員 10名程度

(3) 彫刻奨学生奨学金

財団創立10周年記念事業として第11期に設けた奨学金助成制度で、大学の芸術学部等（今期は、日本大学、多摩美術大学、女子美術大学の3校が対象校）において彫刻の研究・学習を行っている研究生または学生を対象として奨学助成します。奨学生の作品は、山梨県笛吹市境川町「藤壘の滝大窪いやしの杜公園」に永久展示いたします。

定 員 5名

(4) 海外奨学金（外国人奨学生奨学金）

第25期から中国の天津市にある南開大学の奨学助成事業をスタート、貧困度と成績を指標にして、大学・高校で既に学んでいる学生達を対象に選考しています。同様に天津大学、広州市広東工業大学、ベトナムの国立ハノイ農業大学、経営管理大学、ズンサ高校、フィリピンのNPO ミンダナオ子ども図書館（MCL）のスカラシップ（大学）、43期からインドネシア ポリネス大学への展開を図り奨学金の支給先を拡充しています。

定 員	127名	〔	中国の3大学	30名
			ベトナムの2大学	40名
			ベトナムの高校	25名
			フィリピンの大学	12名
			インドネシア	20名

(5) 音楽奨学生奨学金

第35期から始まった音楽分野の奨学金は、今まで37名の方々に支給しています。愛知県立芸術大学の学生、大学院生を対象としています。

定 員 3名

(6) ライフシフト奨学金

人生100年時代を迎えて、一度社会に出て働いている方々が生涯を通じて、必要な時に必要なことを学び、ライフシフトを容易にするための奨学金助成事業を開始します。実務経験3年以上を有する方を対象として、大学2年次から大学院卒業までの最短年数を助成します。大学、大学院修士課程さらには博士課程まで見据えて真剣に研究に取り組み、大学の研究力向上、研究者の質向上により、国際社会に貢献する有用な人材育成を行うことを目指しています。

定 員 15名程度

### 公3. 生涯教育講演会・研修会等の事業

より豊かな生きがいを求めるものに対し、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶ機会を提供することにより、健康で豊かな知識と情操を有する人材の育成に寄与するとともに、生涯教育の啓蒙を目的としています。

#### (1) 講演会の開催

生涯教育の必要性和啓蒙を図るため、学識経験者を講師として招き、向学の方々を対象とした講演会を行います。

世の中で話題になっている事柄や心の糧になるようなテーマについて講師を招いて開催します。また、気軽に日本の伝統文化に親しみ、その良さを再発見することができるように「能」「狂言」「文楽」「歌舞伎」「雅楽」についての講演会を行って参りました。今期は「文楽」の講演会と西洋文化についても学ぶ機会を提供しようと考え講演会を開催します。

開催回数	文楽	1回
	西洋文化	1回

#### (2) 研修会の開催

プラン作成から講師に参画いただき、講師の解説を直接現場で聴き学習できる機会を提供し、参加者の現場での体験・体感を重視した研修会です。

##### ① 美術研修

###### 1) 美術鑑賞

毎回テーマを定めて、講師と共に美術館等を訪問し本物に触れ、鑑賞し学習することにより、心豊かな人間を涵養します。

研修回数	2回
------	----

###### 2) デジタル一眼レフカメラ入門

記録に残す写真、芸術的な写真と目的は様々ですが良い写真を撮りたいと思う気持ちは誰でもあると思います。少しでも良い写真を撮るための入門講座により、芸術の一端を学びます。終了後作品展を開催します。

研修回数	1回
------	----

##### ② 伝承研修

地獄・極楽に始まった古きよきものを訪ねる研修は、時の流れの中で脈々と生きてきた古きよきものを訪ね、次世代に伝承していくものを学びます。2013年よりテーマを「先人の生き方に学ぶ」と定め、偉人が生まれた土地の歴史や文化遺産に触れて人づくりの極意を学びます。

研修回数	1回
------	----

③ 歴史研修

講師のプランを基に行程を作成し、「城めぐり」の現場で解説を願う研修です。「城」を通して歴史を、人の生きざまを学びます。城跡に立ち講師の解説によって想像の世界を広げ臨場感とともに歴史の奥深さを味わうことができます。

研修回数 2回

④ PLPライフプランセミナー

「人生100年時代」が叫ばれ、100年生きる前提での人生設計が必要であると言われています。マルチステージとリカレント教育の理解が重要になります。今後のライフプランを専門講師の指導のもとに学びます。対象年齢を50歳以上とし、日帰り1日コースを企画いたします。

研修回数 1回

⑤ 音楽研修

東日本大震災の被災地へのチャリティコンサートに向けて、「日本の合唱作品」と「ラテン語の宗教曲」を取り上げて合唱を学びます。

研修回数 21回+ゲネプロ+発表コンサート

(3) 論文募集

① 第44回論文募集「課題未定」

生涯教育の観点から、主に社会で問題となっていることをテーマに小論文

・エッセイを募集します。1月に課題を決定します。

入賞発表 2021年8月下旬 ホームページに掲載

② 論文集の発刊 11月

(4) 機関誌「生涯教育だより」発行

当財団で実施した講演会や研修会の概要や当財団で行う諸事業の予告・報告などを掲載するとともに、賛助会員の意見、感想等の発表の場として活用しています。機関誌は賛助会員、その他関係先に配付します。今期は、コロナウイルス感染拡大を受けて、3回発行を2回とします。

発行回数 2回/期(春号、夏号)

発行部数 1,000部/回

# 収支予算書

令和3年10月 1日から令和4年 9月30日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	138,989,000	128,078,000	10,911,000
基本財産受取利息	10,679,000	12,596,000	-1,917,000
基本財産受取配当金	128,310,000	115,482,000	12,828,000
特定資産運用益	1,484,000	1,816,000	-332,000
特定資産受取利息	1,484,000	1,816,000	-332,000
受取会費	100,000	108,000	-8,000
賛助会員受取会費	100,000	108,000	-8,000
受取負担金	8,167,000	5,472,000	2,695,000
受取負担金	8,167,000	5,472,000	2,695,000
固定資産受贈益	1,292,000	1,292,000	0
建物受贈益	1,292,000	1,292,000	0
雑収益	63,000	63,000	0
受取利息	7,000	7,000	0
雑収益	56,000	56,000	0
経常収益計	150,095,000	136,829,000	13,266,000
(2) 経常費用			
事業費	114,393,000	103,982,000	10,411,000
役員報酬	2,793,000	2,793,000	0
給料手当	7,466,000	7,734,000	-268,000
役員退職繰入額	840,000	840,000	0
福利厚生費	105,000	210,000	-105,000
会議費	4,562,000	4,286,000	276,000
旅費交通費	16,136,000	14,264,000	1,872,000
通信運搬費	899,000	889,000	10,000
減価償却費	1,359,000	1,327,000	32,000
消耗什器備品費	81,000	81,000	0
消耗品費	10,000	10,000	0
修繕費	700,000	1,000,000	-300,000
図書文献費	80,000	70,000	10,000
印刷製本費	5,340,000	5,330,000	10,000
光熱水料費	490,000	630,000	-140,000
賃借料	2,770,000	2,800,000	-30,000
保険料	0	20,000	-20,000
諸謝金	3,865,000	3,917,000	-52,000
支払負担金	300,000	300,000	0
支払助成金	31,028,000	24,388,000	6,640,000
支払寄付金	0	50,000	-50,000
支払奨学金	25,718,000	27,648,000	-1,930,000
委託費	8,868,000	4,560,000	4,308,000
渉外費	503,000	595,000	-92,000
雑費	480,000	240,000	240,000

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
管理費	23,148,000	23,863,000	-715,000
役員報酬	6,397,000	6,497,000	-100,000
給料手当	3,315,000	3,315,000	0
役員退職繰入額	360,000	360,000	0
福利厚生費	90,000	90,000	0
会議費	1,750,000	1,676,000	74,000
旅費交通費	500,000	500,000	0
通信運搬費	500,000	500,000	0
減価償却費	590,000	575,000	15,000
消耗什器備品費	700,000	700,000	0
消耗品費	1,000,000	1,000,000	0
修繕費	300,000	400,000	-100,000
図書文献費	53,000	100,000	-47,000
印刷製本費	200,000	300,000	-100,000
光熱水料費	210,000	270,000	-60,000
賃借料	1,080,000	1,200,000	-120,000
保険料	120,000	120,000	0
諸謝金	1,058,000	1,260,000	-202,000
租税公課	171,000	300,000	-129,000
支払負担金	300,000	300,000	0
諸会費	594,000	400,000	194,000
委託費	3,200,000	3,200,000	0
渉外費	300,000	500,000	-200,000
雑費	360,000	300,000	60,000
経常費用計	137,541,000	127,845,000	9,696,000
評価損益等調整前当期経常増減額	12,554,000	8,984,000	3,570,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	12,554,000	8,984,000	3,570,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,554,000	8,984,000	3,570,000
一般正味財産期首残高	2,138,984,000	2,130,000,000	8,984,000
一般正味財産期末残高	2,151,538,000	2,138,984,000	12,554,000
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	996,000	0	996,000
基本財産受取配当金	996,000	0	996,000
受取寄付金	0	20,500,000	-20,500,000
受取寄付金	0	20,500,000	-20,500,000
一般正味財産への振替額	-1,292,000	-1,292,000	0
一般正味財産への振替額	-1,292,000	-1,292,000	0
当期指定正味財産増減額	20,204,000	19,208,000	996,000
指定正味財産期首残高	6,684,208,000	6,665,000,000	19,208,000
指定正味財産期末残高	6,704,412,000	6,684,208,000	20,204,000
III 正味財産期末残高	8,855,950,000	8,823,192,000	32,758,000

## 収支予算書内訳表

令和3年10月 1日から令和4年 9月30日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合 計
	公1. 生涯教育助成事業	公2. 生涯教育学習者奨学事業	公3. 生涯教育講演会・研修会・その他事業	共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	87,665,000	87,665,000	51,324,000	138,989,000
基本財産受取利息	0	0	0	10,679,000	10,679,000	0	10,679,000
基本財産受取配当金	0	0	0	76,986,000	76,986,000	51,324,000	128,310,000
特定資産運用益	0	0	0	980,000	980,000	504,000	1,484,000
特定資産受取利息	0	0	0	980,000	980,000	504,000	1,484,000
受取会費	0	0	0	100,000	100,000	0	100,000
賛助会員受取会費	0	0	0	100,000	100,000	0	100,000
受取負担金	0	0	8,167,000	0	8,167,000	0	8,167,000
受取負担金	0	0	8,167,000	0	8,167,000	0	8,167,000
固定資産受贈益	0	0	0	905,000	905,000	387,000	1,292,000
建物受贈益	0	0	0	905,000	905,000	387,000	1,292,000
雑収益	0	0	0	63,000	63,000	0	63,000
受取利息	0	0	0	7,000	7,000	0	7,000
雑収益	0	0	0	56,000	56,000	0	56,000
経常収益計	0	0	8,167,000	89,713,000	97,880,000	52,215,000	150,095,000
(2) 経常費用							
事業費	31,285,000	34,354,000	32,181,000	16,573,000	114,393,000	0	114,393,000
役員報酬				2,793,000	2,793,000	0	2,793,000
給料手当				7,466,000	7,466,000	0	7,466,000
役員退職繰入額				840,000	840,000	0	840,000
福利厚生費				105,000	105,000	0	105,000
会議費	1,492,000	440,000	2,630,000		4,562,000	0	4,562,000
旅費交通費	1,065,000	790,000	14,281,000		16,136,000	0	16,136,000
通信運搬費	200,000	295,000	404,000		899,000	0	899,000
減価償却費				1,359,000	1,359,000	0	1,359,000
消耗什器備品費		81,000			81,000	0	81,000
消耗品費	10,000				10,000	0	10,000
修繕費				700,000	700,000	0	700,000
図書文献費			80,000		80,000	0	80,000
印刷製本費	1,580,000		3,760,000		5,340,000	0	5,340,000
光熱水料費				490,000	490,000	0	490,000
賃借料			250,000	2,520,000	2,770,000	0	2,770,000
保険料		0			0	0	0
諸謝金	560,000	657,000	2,648,000		3,865,000	0	3,865,000
支払負担金				300,000	300,000	0	300,000
支払助成金	25,678,000	4,000,000	1,350,000		31,028,000	0	31,028,000
支払寄付金					0	0	0
支払奨学金		25,718,000			25,718,000	0	25,718,000
委託費	400,000	2,160,000	6,308,000		8,868,000	0	8,868,000
渉外費	300,000	83,000	120,000		503,000	0	503,000
雑費	0	130,000	350,000		480,000	0	480,000



(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合 計
	公1. 生涯教育 助成事業	公2. 生涯教育 学習者奨学 事業	公3. 生涯教育 講演会・研 修会・その他 事業	共通	小 計		
管理費	0	0	0	0	0	23,148,000	23,148,000
役員報酬	0	0	0	0	0	6,397,000	6,397,000
給料手当	0	0	0	0	0	3,315,000	3,315,000
役員退職繰入額	0	0	0	0	0	360,000	360,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	90,000	90,000
会議費	0	0	0	0	0	1,750,000	1,750,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	500,000	500,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	500,000	500,000
減価償却費	0	0	0	0	0	590,000	590,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	700,000	700,000
消耗品費	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
修繕費	0	0	0	0	0	300,000	300,000
図書文献費	0	0	0	0	0	53,000	53,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	200,000	200,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	210,000	210,000
賃借料	0	0	0	0	0	1,080,000	1,080,000
保険料	0	0	0	0	0	120,000	120,000
諸謝金	0	0	0	0	0	1,058,000	1,058,000
租税公課	0	0	0	0	0	171,000	171,000
支払負担金	0	0	0	0	0	300,000	300,000
諸会費	0	0	0	0	0	594,000	594,000
委託費	0	0	0	0	0	3,200,000	3,200,000
渉外費	0	0	0	0	0	300,000	300,000
雑費	0	0	0	0	0	360,000	360,000
経常費用計	31,285,000	34,354,000	32,181,000	16,573,000	114,393,000	23,148,000	137,541,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-31,285,000	-34,354,000	-24,014,000	73,140,000	-16,513,000	29,067,000	12,554,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-31,285,000	-34,354,000	-24,014,000	73,140,000	-16,513,000	29,067,000	12,554,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計							
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	-31,285,000	-34,354,000	-24,014,000	73,140,000	-16,513,000	29,067,000	12,554,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額				0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-31,285,000	-34,354,000	-24,014,000	73,140,000	-16,513,000	29,067,000	12,554,000
一般正味財産期首残高					1,581,722,000	557,262,000	2,138,984,000
一般正味財産期末残高					1,565,209,000	586,329,000	2,151,538,000
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益			996,000		996,000		996,000
基本財産受取配当金			996,000		996,000		996,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	-905,000	-905,000	-387,000	-1,292,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	-905,000	-905,000	-387,000	-1,292,000
当期指定正味財産増減額	0	0	996,000	19,595,000	20,591,000	-387,000	20,204,000
指定正味財産期首残高					4,111,595,000	2,572,613,000	6,684,208,000
指定正味財産期末残高					4,132,186,000	2,572,226,000	6,704,412,000
III 正味財産期末残高					5,697,395,000	3,158,555,000	8,855,950,000